

令和8年8月10日

編集・発行 農林水産省農産局技術普及課

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆
oo

このメールマガジンは、普及事業に関する情報などを、登録された皆様に無料でお届けするものです。まわりに登録されていない方がおられましたら、ぜひ登録をお勧めください。

登録先は、<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html> をご覧ください。
oo

【 本 号 の 内 容 】

【技術普及課からのお知らせ】

- ☆8月は熱中症リスクのピーク ひとり作業を避け、声かけを！
- ☆スマート技術体系の横展開を図る産地等を募集します！
- ☆【9月11日開催】国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウム in 近畿
- ☆農業支援サービス事業者を支援する公募を実施中！（サービス加速化事業）

【病害虫発生予報の発表について】

- ☆「令和8年度 病害虫発生予報第6号」（令和8年8月5日（水）付け）を発表しました。

【施策情報】

- ☆令和8年度「野菜の日シンポジウム～気軽に始める野菜のある暮らし～」を開催します
- ☆令和8年度地域特産物マイスター候補者の募集・推薦について
- ☆令和8年度第38回全国そば優良生産表彰事業の募集について
- ☆労災保険加入促進に向けたポータルサイト公開！
- ☆全国トレーニングファーム推進協議会の会員を募集中！
- ☆荒廃農地の発生防止・解消にむけた事業の実施地区について追加募集中しています！
- ☆中山間地域で「稼ぐ」ための取り組みを支援します！！
- ☆（みどり戦略技術紹介）いもち病抵抗性に優れる極早生イタリアンライグラス「Kyushu 1」
- ☆「農業に役立つ気象情報の利用手引き」のご紹介！

++・…… 技術普及課からのお知らせ ……・++

=====

- ◆8月は熱中症リスクのピーク ひとり作業を避け、声かけを！

=====

7月30日（木）に発表された気象庁の1か月予報では、全国的に暖かい空気に覆われ、特に北・東・西日本では、期間の前半は気温がかなり高くなる見込みです。

平成 27 年～令和 6 年における熱中症の累計月別死亡事故件数は、7、8 月で約 85%を占め、特に 8 月は熱中症リスクがピークを迎える時期です。今月も熱中症対策を徹底してください。

農林水産省では、7～9 月に熱中症等対策声かけ期間を実施しています。8 月も「いのちをうばう、夏のひとり作業」をキャッチフレーズに、家族や地域で声をかけあいましょう。また、熱中症等対策声かけ隊も 8 月末まで募集中です。農作業現場での見守りや声かけをはじめ、様々な形での活動が対象です。下記 URL よりぜひご応募ください。

普及指導員の皆様におかれましても、熱中症等対策声かけ期間の周知及び熱中症等対策声かけ隊への参加呼びかけにご協力いただき、農作業中の声かけ強化をお願いいたします。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/s_kikaika/anzen/koekake.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課 機械・安全ユニット

(担当：藤田) (03-6744-2107)

=====

◆スマート技術体系の横展開を図る産地等を募集します！

【全国農業改良普及支援協会】

=====

(一社) 全国農業改良普及支援協会では、令和 7 年度スマート技術体系への包括的転換加速化総合対策事業(全国推進事業)により、スマート農業技術を活用し、その導入効果を大幅に高める栽培体系への抜本的な転換等を行っている先行事例を効果的に横展開するための取組を支援しています。

現在、下記により、スマート技術体系の横展開を図る産地等の公募(第 3 次公募)を行っておりますので、お知らせいたします。

地域や品目を問わず募集しておりますが、特に野菜や果樹の取組をお待ちしております！

1 支援内容

スマート農業技術を活用し、その導入効果を大幅に高める栽培体系への抜本的な転換等を行っている先行事例を効果的に横展開するための産地の取組を支援します。

2 支援対象となる取組み

ア. 展示圃場の設置

イ. 講習会・研修会の開催

ウ. その他ア、イに関連する必要な推進活動

3 応募団体の要件

都道府県・市町村・国研・独法・JA・JA 連合会・農業者・民間企業・任意団体等

4 応募方法

公募要領をご確認の上、指定の応募申請書により8月28日（金）までに（一社）全国農業改良普及支援協会宛電子メールでお申し込みください。
詳細は、（一社）全国農業改良普及支援協会ホームページをご覧ください。

▼詳細はこちら

（一社）全国農業改良普及支援協会ホームページ（外部リンク）

<https://www.jadea.org/news/20260729/>

※お問い合わせ先

（一社）全国農業改良普及支援協会（担当：佐野）（03-5817-4992）

=====

◆【9月11日開催】国内肥料資源の利用拡大に向けたシンポジウム in 近畿

=====

農林水産省では、国内資源由来肥料の利用拡大を目指し、先進事例の紹介や新たな技術・知見の提供、関係者間の情報共有を目的としたシンポジウムを開催しています。

本シンポジウムでは、大学・研究機関・民間企業・農業者から最新の取組事例等をご紹介いただくとともに、「国内肥料資源の活用と社会実装の方向性」をテーマにトークセッションを実施します。

参加は無料で、どなたでもご参加いただけます。事前にお申し込みいただくと、当日の受付がスムーズです。関係者への周知につきまして、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

▼詳細・参加申し込みはこちら（外部リンク）

<https://agri.mynavi.jp/hiryo-forum/kinki/>

※お問い合わせ先

（株）マイナビ 地域活性CSV事業部（03-6267-4019）

農林水産省 農産局 技術普及課 肥料ユニット

（担当：井上）（03-6744-2107）

=====

◆農業支援サービス事業者を支援する公募を実施中！（サービス加速化事業）

=====

農業支援サービス事業者（農作業受託等を通じて農業者をサポートする者）に対し、コンバインやドローン等の農業機械の導入、ニーズ調査や専門人材の育成等を幅広く支援する事業を公募中です（申請期限9月24日（木））。なお、申請書類は事前に確認機関の確認を受ける必要がありますのでご注意ください（※）。

農業支援サービス事業者は、農業分野とは直接関係のない事業者もなることが可能です（例：建設業者等。個人・法人も問いません）。普及指導員の皆様におかれては、この機会に、管内の事業者に幅広くご紹介いただき、農業現場の人手不足の解消等に役立つ農業支援サービスの推進にご協力をお願いいたします。

※書類等確認機関への提出期限 9月7日(月)

書類等確認機関((一社)農林水産航空・農業支援サービス協会、
<https://j3a.or.jp> (外部リンク))にご確認ください。

▼詳細はこちら

農業支援サービス関係情報

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>

事業の公募情報等

https://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/nousan/260805_140-2.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 技術普及課 サービスユニット

(03-6744-2107)

++・…… 病虫害発生予報の発表について ……・++

=====

◆「令和8年度 病虫害発生予報第6号」(令和8年8月5日(水)付け)を発表しました。

【消費・安全局植物防疫課】

=====

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「病虫害発生予報第6号」を発表しました。

普及指導員の皆様におかれては、病虫害防除所等と連携し、地域での防除が確実に実施されるようご指導をお願いします。

○今後発生量が多くなると予想される主要な病虫害及び地域

- ・ 水稻では、斑点米カメムシ類の発生が、東北、関東、甲信、北陸、東海、近畿、中国、四国及び北九州の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 野菜・花きでは、オオタバコガ及びシロイチモジヨトウの発生が、北関東等の一部の地域で多くなると予想されています。
- ・ 果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北関東、中国、四国及び南九州の一部の地域で多いと予想されています。

この他、いちごのうどんこ病等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので、都道府県の発表する発生予察情報等を参考に適期の防除を実施してください。

○「令和8年度 病虫害発生予報第6号」の発表について(令和8年8月5日(水)付け農林水産省プレスリリース)はこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/260805.html>

※ 都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。

○都道府県の病虫害発生予察情報などはこちらから

<https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 消費・安全局 植物防疫課 国内防除第2班

++・…… 施策情報 ……・++

=====

◆令和8年度「野菜の日シンポジウム～気軽に始める野菜のある暮らし～」を開催します

【農産局園芸作物課】

=====

8月31日(月)は「野菜の日」です。農林水産省では8月31日(月)に直面及びWEBにて野菜の消費拡大を目的としたシンポジウムを開催します。本年は、特に野菜の摂取量が少ない若者世代に向けて、気軽に野菜を暮らしに取り入れる簡単調理等について、トークイベントや事例発表を行うとともに、大学生を交えたパネルディスカッションを行います。

本シンポジウムは、8月17日(月)17時まで募集を受け付けておりますので、普及指導員の皆様におかれましては、関係者への周知及び野菜の消費拡大に向けた取組の推進についてご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

https://www.maff.go.jp/j/press/nousan/ryutu/260717_1.html

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 園芸作物課

(担当：中田、鶴屋、楠田) (03-3501-4096)

=====

◆令和8年度地域特産物マイスター候補者の募集・推薦について

【農産局果樹・茶グループ】

=====

公益財団法人日本特産農産物協会は、地域特産作物(茶、伝統野菜、薬用作物等)の栽培・加工技術などについて、卓越した技術能力を有し、産地育成の指導者となる人材を「地域特産物マイスター」として認定・登録をしています。

普及指導員の皆様におかれましては、積極的な人材発掘、推薦についてご協力をお願いします。

応募期限：令和8年9月30日(水)

応募方法：申請書・推薦書を都道府県の担当部局に提出

認定対象：地域の立地条件や独自の技術により生産される農産物や食品等

対象者：対象となる地域特産物の生産、加工等におおむね10年以上携わっ

ている実践的な農業従事者、農産加工関係者等で、卓越した技術・能力を有し、産地育成の指導者となる人材

▼詳細はこちら

公益財団法人日本特産農産物協会ホームページ(外部リンク)

<http://www.jsapa.or.jp/mister/index.html>

※お問い合わせ先

公益財団法人日本特産農産物協会

(担当：寺田、吉川) (03-6689-9428)

農林水産省 農産局 果樹・茶グループ

(担当：小野澤) (03-6744-2512)

◆令和8年度第38回全国そば優良生産表彰事業の募集について

【農産局地域作物課】

農林水産省で後援している「全国そば優良生産表彰事業」の募集について、お知らせいたします。

「全国そば優良生産表彰事業」は、平成元年度より毎年、主催者である一般社団法人日本蕎麦協会が、そばの生産技術の向上や経営改善、安定的な出荷販売のほか、加工品の販売により付加価値を向上させる取組などを全国に普及することを目的に、全国の模範となる優良なそば生産農家・集団を表彰しているものです。

応募にあたっては、都道府県（農業普及指導センター等）、市区町村、農業協同組合等からの推薦が基本になります。普及指導員の皆様におかれましても、優良生産農家・集団の推薦・応募にご協力をお願いいたします。

▼詳細はこちら

一般社団法人日本蕎麦協会HP（外部リンク）

[https://nihon-soba-](https://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html)

[kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html](https://nihon-soba-kyokai.or.jp/208402226912381124002077833391299832998734920244322010726989.html)

※お問い合わせ先

農林水産省 農産局 地域作物課

(担当：五十嵐、南郷、渡邊) (03-6744-2115)

◆労災保険加入促進に向けたポータルサイト公開！

【経営局就農・女性課】

事業主は、アルバイトやスポットワークを含め、雇っている従業員が業務中に負傷・疾病・死亡した場合には、その治療費や休業中の給料などを補償しなければならない義務（災害補償責任）があります。

しかし、労災保険に基づいて補償を受けられる場合には、事業主は災害補償責任を免れます。

今般、労災保険に係る法律が改正され、1人でも従業員を雇用すると、事業主は労災保険に加入することが義務付けられます。施行は公布から5年以内となっていますが、施行を待たずして労災保険の加入を進めていくことが重要です。労災保険は、事業主と従業員の双方を守る大切な制度です。

この度、農作業安全対策から労災保険制度の内容、加入の流れまで幅広く掲載する「農業労災・安全対策ポータル」サイトをリリースしました。

普及指導員の皆様におかれましても、ポータルサイトをご活用いただき、農業

者の労災保険加入が進むよう積極的な周知にご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

ポータルサイト（外部リンク）

<https://aguri-rousai.jp/>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 就農・女性課

（担当：菅原、福士）（０３－６７４４－２１６０）

=====

◆全国トレーニングファーム推進協議会の会員を募集中！

【経営局就農・女性課】

=====

地域による新規就農希望者のサポート体制を構築し、技術と経営を総合的に学べる実践的なトレーニングファーム（研修農場）の設置を推進するため、「全国トレーニングファーム推進協議会」を立ち上げました。

現在、協議会の目的に賛同してくださる会員を募集しています。

研修農場を運営している方、新規就農者の支援にかかわる方、今後就農を考えている方など、個人・団体問わず、どなたでも入会可能です。

入会すると、会員限定のイベントへの参加、研修生や研修農場とのマッチング、ロゴマークの使用等ができます。入会費は無料！ぜひ、ご入会ください！

普及指導員の皆様におかれましても、トレーニングファームの設置の推進についてご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

協議会サイト（外部リンク）

<https://www.be-farmer.jp/trainingfarm/>

※お問い合わせ先

農林水産省 経営局 就農・女性課 農業教育グループ

（０３－６７４４－２１６２）

=====

◆荒廃農地の発生防止・解消にむけた事業の実施地区について追加募集中しています！

【農村振興局地域振興課】

=====

農林水産省では、荒廃農地の発生防止・解消にむけた取組を支援する「最適土地利用総合対策」（最適土地利用総合事業、荒廃農地再生支援事業）を実施しております。

本対策のうち「最適土地利用総合事業」では、地域ぐるみの話し合いにより、営農を続けて守るべき農地、粗放的利用を行う農地等を区分し、実証的な取組を行いつつ、土地利用構想を作成し、その実現に必要な農用地保全のための活動、基盤整備や施設整備費等を支援しています。

また、令和8年度から拡充した「荒廃農地再生支援事業」では、早急に耕作の再開を目指す荒廃農地等について、刈払・伐根、除礫、土壌改良、支障物撤去等の再生作業、暗渠排水、客土、区画整理等の簡易な基盤整備、土壌改良等を支援しています。

上記の事業については、現在、実施地区の追加募集を行っており、事業の申請については市町村の担当窓口にてご相談ください。

普及指導員の皆様におかれましては、荒廃農地の解消等でお悩みの農業者の方に周知をお願いいたします。

▼詳細はこちら

農山漁村振興交付金（最適土地利用総合対策）

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/tikei/houkiti/saitekitochiriyo.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 地域振興課

（担当：岡林、今野）（03-6744-2665）

=====

◆中山間地域で「稼ぐ」ための取り組みを支援します！！

【農村振興局地域振興課】

=====

「元気な地域創出モデル支援（地域力活用型）」事業に取り組みたい地域・団体を募集中！

中山間地域において、担い手不足、労力の増大、販路確保の困難、地域の農産物の活用不足といった課題を抱えていませんか。

このような課題を解決するため、農林水産省では、地域資源を活かしながら地域で「稼ぐ」ための取組を支援しています。

農業者に加え、地域内外の人材や企業等と連携しながら、地域力活用に向けた調査、計画作成、実証、新たな栽培技術の導入等に向けた生産環境条件の整備をすることができます。

普及指導員の皆様におかれましては、中山間地域の「稼ぐ」取組に興味・関心のある方へご紹介いただきますよう、ご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

元気な地域創出モデル支援（地域力活用型）

https://www.maff.go.jp/j/g_biki/hojo/r7_hosei/260127.html

元気な地域創出モデル支援（地域力活用型）PR チラシ

https://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sesaku/attach/pdf/chusankan_suishin-33.pdf

※お問い合わせ先

農林水産省 農村振興局 地域振興課

（担当：神室、竹内）（03-3501-8359）

=====

◆（みどり戦略技術紹介）いもち病抵抗性に優れる極早生イタリアンライグラス

「Kyushu 1」

【大臣官房政策課技術政策室】

=====

イタリアンライグラス「Kyushu1」はいもち病抵抗性が強く、いもち病が発病しやすい9月（気温22℃以上で発病が促される）に播種しても、既存品種「さちあおば」よりも安定的に12月から1月に年内草を収穫、4月上旬までに再生草を収穫でき、早期から夏作物の栽培が可能となる品種になります。本技術により通常播種（10月～11月）のイタリアンライグラスや飼料用イネとの作業分散ができます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

普及指導員の皆様におかれましては、本技術をはじめ、カタログに掲載されている技術の活用をご検討いただき、生産現場で広く活用されるようご指導及びご協力をお願いします。

▼詳細はこちら

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（分割版：畜産）p. 25

いもち病抵抗性に優れる極早生イタリアンライグラス「Kyushu 1」

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/08_midori_catalog_5_animal.pdf#page=25

「みどりの食料システム戦略」技術カタログ

<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

※お問い合わせ先

農林水産省 大臣官房 政策課 技術政策室

（担当：中野、佐藤）（03-3502-3162）

=====

◆「農業に役立つ気象情報の利用手引き」のご紹介！

【気象庁大気海洋部気候情報課】

=====

気象庁では、農業気象災害を防止し生産性の向上を図れるように様々な気象情報を発表しています。これらを農業技術指導などに役立てていただくために「農業に役立つ気象情報の利用の手引き」を公開しています。

手引き本編は今年5月から始まった新たな防災気象情報にも対応し、農業気象災害が予想されるとき気象情報の流れなども掲載！

さらに別冊では「農業での気象データの活用事例」や「データの取得方法」なども紹介しています。

普及指導員の皆さまにおかれましては、気象情報・データを活かした見通しを立てる際のご参考に、ぜひご活用ください！

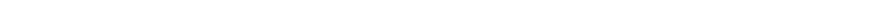
▼詳細はこちら（外部リンク）

<https://www.jma.go.jp/jma/kishou/nougyou/tebiki.html>

※お問い合わせ先

気象庁 大気海洋部 気候情報課

（担当：小松、和田）（03-6758-3900）



<https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

https://www.maff.go.jp/j/seisan/gizyutu/hukyu/h_mailmag/index.html

メールマガジンに記載したURLで、一部PDF形式のものがあります。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>

のボタンで Adobe Reader をダウンロードしてください。